年間授業計画 新様式例

# 高等学校 令和5年度（１学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅰ

教 科： 芸術　　科 目： 美術Ⅰ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ 美術１ ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅰ の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 課題の意図をしっかり把握し、完成した作品を提出することができる。 | 多角的な視点で課題に取り組み、独自のオリジナリティについても考え、表現することができる。 | しっかりと授業の準備をし、授業に集中し、前向きに取り組むことができる。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 | | | 鑑賞 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 絵・彫 | デ | 映 | | | | | | |
| 1学期 | ○プッシュカラーシートを使った構成デザイン<br>・形や色、構成などの構想を練る<br>・形や色、構成などを工夫して制作する<br>・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う<br>○鑑賞 | ・発想や構想したことを基に創造的に表現する<br>・新しい素材の特徴と表現方法、表現効果を生かした制作をする | | ○ | | ○ | 〔知識及び技能〕<br>配色、構成などを効果的に使い全体のイメージを伝えることを理解している。<br>〔思考力、判断力、表現力等〕<br>効果的な表現形態や構成、配色などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。<br>〔学びに向かう人間性等〕<br>主体的にデザインを工夫し、表現の創造活動に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 16 |
| 2学期 | ○人物の点描<br>・人物の細かな表現を点描で表現する<br>・様々な質感を工夫して描き分ける<br>・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う<br>○鑑賞 | ・発想や構想したことを基に創造的に表現する<br>・材料を効果的に生かした表現方法を工夫する | ○ | | | ○ | 〔知識及び技能〕<br>点描での表現が的確になされている<br>〔思考力、判断力、表現力等〕<br>様々な質感の表現を工夫し、創造的な表現の構想を練っている<br>〔学びに向かう人間性等〕<br>主体的に人を見つめ、感じ取ったものを表現の創造活動に生かし、取り組もうとしている<br>お互いの作品の意図や工夫を感じ取り、鑑賞の創造活動に取り組もうとしている | ○ | ○ | ○ | 40 |
| 3学期 | ○アクリル絵の具を使った平面構成<br>・新しい素材を学ぶ<br>・形や色、構図、構成を工夫して制作する<br>・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り話し合う<br>○鑑賞 | ・発想や構想したことを基に創造的に表現する<br>・新しい素材の特徴を理解し、効果的な表現方法、表現効果を工夫し、生かした制作をする | | ○ | | ○ | 〔知識及び技能〕<br>新しい素材の表現を学び、効果的に活用する<br>〔思考力、判断力、表現力等〕<br>発想や構想を創造的に表現する<br>〔学びに向かう人間性等〕<br>主体的に表現の創造活動に取り組もうとしている | ○ | ○ | ○ | 14 |
| | | | | | | | | | | | 合計 |
| | | | | | | | | | | | 70 |